

はじめに

今年度は相次ぐ台風等により、多数の家屋損壊や浸水による甚大な被害、広範囲で長期にわたる停電や断水など、これまでに経験したことがない災害が発生しました。被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、千葉県衛生研究所は、県における保健衛生行政の科学的かつ技術的な拠点として、健康福祉部関係課、保健所、他の自治体などと連携を図り、公衆衛生に係る「調査研究」、「試験検査」、「研修指導」、「情報の収集・解析・提供」等を行っています。

具体的には、日頃から精度管理の強化を図りながら、県の施策や計画に基づく細菌、ウイルス等に係る感染症・食中毒の試験検査、医薬品、食品、飲料水等の試験検査、疫学等の調査及びそれらの研究並びに保健所職員等に対する技術的・専門的な研修指導を実施しています。更に、県民や市町村・関係団体等に対し、感染症や生活習慣に係るデータを集積・解析し、情報を提供しております。

東京オリンピック・パラリンピックに際しては、海外からの訪日客の大幅な増加が見込まれ、中東呼吸器症候群（MERS）、蚊媒介感染症、麻しん等の感染症発生リスクも増加することが懸念されます。更に、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、結核の発生等に対する検査体制の整備並びに媒介動物の生息調査の充実を図っています。

また、超高齢社会を迎え、その対策のための疫学調査・解析なども必要とされています。

平成30年度は県広報番組「ウィークリー千葉県」において、当所の日々の業務が新庁舎とともに紹介されました。更に庁舎新設を機に多目的ホールを利用した施設見学会やセミナーの開催など、情報発信の場としての新たな取り組みも始めたところです。

引き続き、より安全で健康な県民生活を守るため、健康危機管理体制の充実、地域保健に関わる人材養成と資質向上、健康づくりの推進に向けて、中核試験研究機関として一層の役割を果たしてまいりますので、県民及び関係機関の皆さまには、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

令和2年3月

千葉県衛生研究所
石出 広